

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝郎 幹 事 塚越 淳史 会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2971号 2022年10月4日(晴れ) 第13回例会 会員数112名

ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝郎 会長
司 会 副SAA渡辺(純) 会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ 小付 ロールキャベツ 酢豚
デザート 香の物 汁

ビジター紹介 細谷副会長

◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,590名

卓話講師 RI第2550地区ロータリー米山記念奨
学会委員長 田島 良久様(馬頭小川RC)

◇米山記念奨学生

ラグワスレン, アマルサナー君(アマラ君)



会長挨拶 加藤 勝郎 会長

皆さん、こんにちは。世界に誇れるロータリーの留学事業を支える運営母体は三つあります。一つは国際ロータリーで、青少年交換留学を運営しています。もう一つはロータリー財団で、地区補助金やグローバル補助金を利用しての財団留学生支援や平和フェロウの学生支援やVTTによる職業人の留学支援を運営しています。そして最後に日本独自の留学システムとしてのロータリー米山記念奨学会による在日外国人留学生の支援の運営です。三つともそれぞれの目的や歴史や運営が異なります。それぞれの基本理念の理解無くして国際奉仕、青少年奉仕は成り立ちません。本日はロータリー米山記念奨学会について楽しく学びたいと思います。田島様よろしくお祈りします。



幹事報告

小林(弘) 副幹事

◇ロータリーレート 10月は1ドル145円。

◇2550地区より次年度の地区委員候補者についてのレターが届く。問い合わせは幹事まで。

◇レターBOXにR米山記念奨学事業豆辞典配布。



委員会報告

◇親睦委員会

山崎委員長

<誕生祝い・10月>

会員誕生

片山 幸志、菊地 正幸、宮下 浩、
野口 忠男、野添 将嗣、小尾 功、
大木八千雄、関口 泰成、相馬 克美、
田村 哲男、田崎 信孝

各会員

夫人誕生

石塚 増男、菊地 憲寿、永井 泰幸、
野添 将嗣、大関 国明、関 元明、
床井 光雄、山本 修一
各会員の奥様

「3分間スピーチ」



八城光男会員

ご紹介いただきました八城でございます。今、栃木国体が開催されていますので、国体のお話を

したいと思います。今回の国体は第77回大会「いちご一会とちぎ国体」ですが、前の第35回大会のお話をいたします。遡ること、42年前です。

当時私は青年会議所をやっておりましたので、そんな関係もありまして、2つほど、仕事を仰せつかりました。一つは特別同伴接待で、国体に招待されたお客様が宇都宮に来られてから離れるまで、同伴で接待するという仕事でございました。もう一つは、閉会式の後に、参加選手、役員の皆様方との交流会（後夜祭）があるのですが、その実行委員長を仰せつかり、企画から運営まですべてまかされました。大会の3年前に仰せつかったのですが、それはなぜかと言いますと、前の大会の開催県の視察のためなどで、青森、長野、宮崎と3カ所、視察に行っておりました。開催は10月でしたが、いろいろな準備を進めました。

話は変わりますが、私のロータリー暦は、1980年の入会で、42年間在籍しております。この間皆様方から大変な刺激をいただいたり、大きな友情をいただき、大変感謝しております。私の最近のモットーは「邪魔にならない生涯現役」です。今後ともよろしくお願い致します。

※次回3分間スピーチは宮下浩会員



卓 話

「ロータリー米山記念奨学会について」



R I 第2550地区ロータリー米山記念奨学会
委員長 田島 良久様

皆さま、こんにちは。米山記念奨学生のアマラ君と葉姿君さんがお世話になっております。ありがとうございます。今日は、米山記念奨学会について、ということなのですが、そのあたりは、現役の小林正明委員長がおりますので、米山の歴史、沿革、米山梅吉さんや古澤丈作さんの話、普通寄付や特別寄付とは、米山選考に関してなどの話は小林委員長にお願いしまして、後日、卓話をしていただけるのではないかと思います。今日は、これからの委員会の夢ビジョンについてと、東クラブさんでは台湾のロータリークラブと姉妹クラブになっているとのことなので、私のクラブも台湾のロータリークラブと姉妹クラブになって33年になりますので、少し自慢話を披露させていただきます。

ければ、と思います。

- パワーポイントにて説明 -

これからの委員会の夢ビジョン

本事業をロータリアンの皆様に理解して貰うには、やはり、各クラブへ訪問し、卓話です。48クラブをすべて訪問するのが私のモットーです。東クラブさんにも、会長幹事宛に直接、出前卓話案内を出させていただきました。私一人では動けないので、地区委員の皆さんにグループ毎にわかれて卓話をして貰いますが、共通の卓話の資料を、誰が行ってもわかるような形で作って、共有しています。これは、私の次の委員長、将来の委員長に事業を継承するためにも必要と思っています。

米山奨学生から、米山とは何か、ロータリーとは何か、奨学生になったけれど手続きなどがよくわからない、など、不安要素が聞こえてきましたので、今年度より、「毎月学友例会」と称しまして、月に一度、開催しています。例えば、先輩の学友が、同じ母国語で応えたりすることで、不安要素が払拭されるのではないかと思います。奨学生は、月に一度の奨学金を受け取るだけでなく、皆様と一緒に活動がしたいと思っています。今後とも、よろしくお願い致します。

姉妹クラブについて

続きまして、姉妹クラブについてお話ししたいと思います。馬頭小川ロータリークラブは、姉妹クラブへの憧れ、ということで、1988-89年の当時の橋本会長の方針により、まだ、栃木県と茨城県が一緒の頃でしたが、その時の小竹ガバナーと台湾3460地区の英子珊ガバナーのご尽力により、1989年に姉妹クラブを締結しました。今年で33年目を迎えます。馬頭小川ロータリークラブは、1972年創立で、今年で丸50年になります。現在会員は21名です。姉妹クラブは台中にある第3462地区の太平扶輪社です。今現在台湾では、ロータリアンになりたい若い世代がどんどん増えており、地区が分かれております。台北に限って言えば、2地区から5地区に増えました。太平扶輪社も3460地区でしたが、大所帯になり、3461地区と3462地区に分かれたということです。

姉妹クラブ締結後は5年毎にお互いの周年行事に参加しています。私が入会してまもない頃、私のクラブの周年行事があり、会長から成田へ迎えに行つてと言われ、一人で迎えに行つたのがきっかけで、それ以来、私が窓口となっています。また、当時の姉妹クラブの担当者と家族ぐるみでお付き合いさせていただいています。

東日本大震災の時は、携帯電話が繋がりにくい中、太平扶輪社から何度も電話をかけてくれました。

た。今でも鮮明に覚えています。震災後の水曜日の例会の時に、私の携帯電話に「義捐金を送りたいので口座番号を教えてください」とありました。クラブの口座には約100万円振り込まれ、また、太平扶輪社の兄弟クラブの恆春扶輪社から約20万円振り込まれました。正直、思ってもみない驚きでした。この時から、個人的な感情移入が始まりました。

- 写真の披露と説明 -

- ・2011年9月10日 ありがとうの意味で訪問。八田與一さんの烏山頭ダム等に立寄る。
- ・同年 40周年行事にお呼びする。
- ・台湾の児童養護施設へ共同援助。
- ・太平扶輪社30周年式典に参加。
- ・2016年 2週間位かけて職場訪問をしたい、ということで会員の職場等案内する。

- ・2017年 馬頭小川RC45周年式典。
- ・日本のマスク不足に対してマスクが送られる。

姉妹クラブの友好は、両国の担当者の思い入れがあると思います。言葉が通じなくてもなんとかかなと思います。現代のツール、ラインなどを上手く活用して、お付き合いしています。姉妹クラブ締結をして感じたことは、台湾のメンバーはロータリーを楽しんでいる、それも、家族ぐるみで楽しんでいる、ということです。

最後に、今後とも米山記念奨学会に対しましては、よろしくお願い致します。また、本日、ロータリー米山記念奨学会賛助会員についてお配りしましたので、皆様のご理解とご協力を得まして、ご登録、ご記入のほど、よろしくお願い致します。